

研究課題名	当院におけるロボット支援下直腸がん手術の手技と短期成績
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	外科 加藤俊介
研究期間	(西暦) 2021年 7月
研究の意義・目的	ロボット支援下直腸がん手術は保険収載後から増加しており、当院でも2019年2月に導入してから45例を蓄積した。一方でその安全性および短期成績のデータ集積はまだ不十分である。ここまでの短期成績を振り返り、問題点があれば見直す必要がある。今後当院でロボット支援下直腸がん手術をよりよいものとするために当院での短期成績および手術手技を学会で公表し、指摘があれば改善していく。
研究の方法 (対象期間含む)	武蔵野赤十字病院単独・後向き観察研究(症例対照研究)。本研究は既存情報のみを用いる観察研究であり、2021/4月までに行った当院でのロボット支援下直腸がん手術45例を対象とする。
①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合や 他機関へ提供される場 合はその方法含む) ②利用し、又は提供す る試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理 について責任を有す る者の氏名又は名称	下記項目を電子カルテから参照し短期成績を検討する。年齢、性別、BMI、ASA、腫瘍部位、術前ステージ、施行術式、側方郭清の有無、予防的回腸人工肛門の有無、術前放射線治療の有無、手術時間、コンソール時間、出血量、輸血の有無、開腹移行の有無、術後在院日数、病理学的剥離面、縫合不全、腸閉塞、創感染、肺炎、死亡の有無。これらの情報の利用は加藤俊介のみが行い、情報管理の責任者も加藤俊介である。
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 外科 加藤俊介 TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525